

広報

宅建こうち

KOCHI TAKKEN KYOKAI KOHO

2026
vol.230
新春号
令和8年1月発行



きっと何か「見つかる」



■宅建協会 HP



法定講習は**宅建協会**で受講しましょう

(座学)令和7年度 第3回 法定講習開催予定(会場:高知会館)

| | 開催予定日 | 申込受付期間 | 対象者(有効期限) |
|-----|--------------|---------------|---------------------|
| 第3回 | 令和8年3月12日(木) | 令和8年2月2日～2月6日 | 令和8年3月12日～令和8年9月11日 |

※ WEB講習も実施しています(申込時、有効期限が60日以上あること etc… お問合せ下さい。)

特集記事

2026年 OPEN! 五台山展望台「ソラミアン」



五台山展望台と初日の出

新年のご挨拶



公益社団法人 高知県宅地建物取引業協会
公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会高知本部
会長・本部長 矢間 慎一

明けましておめでとうございます。

皆様には穏やかな初春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は高知宅建の運営につきまして格別のご理解、ご協力を賜りましたことに心よりお礼申し上げます。

さて、私たちの不動産業が基幹産業として継続的に発展するためには、消費者から信頼されることが何よりも重要です。不動産業者においては、法令遵守はもとより、業に携わる者の資質向上、業務の適正化、トラブル防止に向けた体制の充実等、信頼産業としての深化に向け努めていく必要があります。

また、人と情報が支える産業であり、少子高齢化、人口減少下にあっても発展を実現するためには、継続的に不動産業の担い手を確保することが重要です。ただし、特に中小規模事業者においては従業者の定着率が低く、経営者の高齢化が進むと後継者の確保や事業承継が現実的な課題となってきます。これからは業界全体として、従業者の教育の充実、顧客への提案能力の強化、キャリアアップ支援等の取組みを総合的に推進することにより、従事する者の満足度を高めつつ、その能力を発揮して活躍できる環境整備が求められます。こうした取組みが、不動産業をより魅力的なものにし、就業を希望する若年層に対する発信力となると考えます。

近年、不動産取引に関わる重要法令の改正が相次いでいます。本年も高知宅建では会員の皆様に、まず新しい情報はスピード感をもって伝える、という基本姿勢を維持します。会員の皆様に扱っていただく多種の不動産流通の実現を図り、それらをもとに消費者の利益増進につとめてまいります。

みんなが笑顔になれますよう、まさに「ハートDEスマイル・ハトマーク」の高知宅建をめざしてまいりますので、会員の皆様には変わらぬご指導のほどよろしくお願ひいたします。

結びに、皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶



地域不動産の未来を拓く、団結と挑戦の一年

公益社団法人 全国宅地建物取引業協会連合会

公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会

会長 坂本 久

新年明けましておめでとうございます。

平素は、全宅連・全宅保証の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の不動産市場は、金利情勢や資材価格、地価の高騰などにより、消費者の住宅取得が難しさを増す一年となりました。そうした中、本会では令和8年度税制改正として、低未利用地の100万円特別控除や住宅ローン減税制度の適用期限延長を要望し、その実現を果たすことができました。

また、私たち中小宅建業者は、空き家対策や自治体との連携など、地域に根差したきめ細やかな役割を果たし、大手にはない、一つひとつの物件、お客様に寄り添う姿勢を大切にしてまいりました。

令和8年は、この「地域密着」という私たちの強みを改めて礎とし、さらなる成長を見据えて歩みを進める一年にしたいと考えております。

まず、あらゆる分野においてデジタル化は確実に広がりを見せています。不動産業においてもIT重説や電子契約の普及、各種データの活用など、日々変化が続いておりますが、本会としては、“安心できる取引環境の整備”を目的として、必要な情報提供や研修の充実を図り、会員業務支援サイト「ハトサポ」などを通じ、実務に役立つ支援を着実に強化してまいります。

次に、私たちの役割は、物件の媒介にとどまらず、空き家や相続不動産への対応、地域の魅力を高める取り組みへと確実に広がっています。地域に密着しているからこそ力を発揮できる分野であり、行政や他業種との連携をますます深め、「まちの未来をつくる担い手」として、その責務を果たしていきたいと考えます。

そして何より大切なのが、団結の力です。市場環境が大きく変わる今こそ、ハトマークグループというプラットフォームを最大限に活用し、成功事例や最新情報を共有し、横のつながりを強めていくことが、私たち中小宅建業者の一一番の力になります。

全宅連・全宅保証会長として、会員の皆様のさらなる発展と、地域社会における不動産業の信頼と価値の向上に尽力する所存です。

本年が皆様にとりまして、飛躍と健康に満ちた素晴らしい一年となりますことを心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

高知県知事 濱田 省司



明けましておめでとうございます。

公益社団法人高知県宅地建物取引業協会並びに会員の皆さんにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、皆さんには、県内の住生活の向上や、県民の皆さんの豊かな暮らしを実現するパートナーとして、日頃からご尽力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

知事としての2期目が折り返し地点を迎えました。今後も「共感」と「前進」を県政運営の基本姿勢とし、元気で豊かな、そしてあったかい高知の実現に向けて全力を尽くしてまいります。

県政の最重要課題は人口減少問題です。これに対応すべく、人口減少対策のマスター・プランである「元気な未来創造戦略」に基づき4つの方向性で施策を強化します。

1つ目は高付加価値型経営への転換です。昨年、業種別の「若者所得向上検討チーム」で取りまとめた経営改革モデルを横展開し、若者の所得向上を目指します。

2つ目は多様な人材が活躍できる環境の実現です。「共働き・共育て」などの働き方改革の取り組みを強化し、仕事と家庭の両立を支援します。

3つ目は「若者に選ばれる高知」を目指した移住・定住対策の強化です。特に、県内企業への転職支援や、子どもたちに地域への理解と愛着を育むキャリア教育をもう一段強化します。

4つ目はニーズに応じた出会いの機会の拡充とライフデザイン支援です。特に、ライフデザイン支援では、若者が自身の人生設計における結婚や子育ての意味について考える機会が得られるよう、各種の啓発事業に取り組みます。

貴協会の皆さんにおかれましても、育児・介護のための休暇制度や長時間労働の解消等、仕事と生活とのバランスがとれた働きやすい環境づくりの推進にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、南海トラフ地震対策については、「第6期南海トラフ地震対策行動計画（令和7年度～令和9年度）」に基づいた「命を守る」、「命をつなぐ」、「生活を立ち上げる」対策を推進しています。本県の住宅の耐震化率の推計は、令和6年度末時点で89パーセントとなっています。第6期計画の耐震改修目標数である4,700棟の達成に向け、さらなる住宅の耐震化を促進します。

さらに、貴協会と平成17年に締結いたしました「大規模災害時における民間賃貸住宅の媒介に関する協定」に基づきまして、被災時に必要となる応急仮設住宅として民間賃貸住宅を借上げ、被災者に提供する賃貸型応急住宅制度の取り組みをさらに推進してまいります。

加えて、移住促進の取り組みについて、貴協会には、高知県居住支援協議会や一般社団法人高知県U.Iターンサポートセンターに参画いただいている他、「高知県への移住促進に関する協定」に基づき、移住希望者へ空き家等の不動産情報を提供いただくなど、多大なご協力をいただいております。

こうした取り組みによりまして、令和6年度の「県外から本県への移住者数」は、「元気な未来創造戦略」に掲げる令和6年度目標の2,500人には届かなかったものの、2,241人と、統計を取り始めた平成23年度以降で過去最多となりました。

貴協会の皆さんには、引き続きのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

県いたしましては、県民の皆さんのが安心して暮らしていける県土づくりを目指し、引き続き全力を挙げて取り組んでまいりますので、貴協会並びに会員の皆さんには、今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さんにとりまして、すばらしい一年となりますよう、心からご祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。



研修会及び忘年会開催

昨年末の12月1日(月)に、城西館において研修会及び忘年会を開催しました。



弁護士 柴田 龍太郎 様



研修会の様子

忘年会の様子

①「疑わしい取引の届出制度について」

高知県警察本部刑事部 組織犯罪対策課 犯罪収益解明係長
警部補 明神 敦 様

②「地域未来投資促進法について」

高知市商工振興部 産業政策課 企業立地促進室
企業立地促進担当係長 濑良 祐介 様

③「改正民法における契約不適合等に関する諸問題」「平時トラブルにも役立つ災害時における法律問題Q&A」

深沢綜合法律事務所 弁護士 柴田 龍太郎 様

研修課題



宅建試験 実施報告

令和7年度の宅地建物取引士資格試験は、10月19日(日)に全国で一斉に開催されました。

高知県におきましては、会員の皆様のご協力により高知学園高知中学高等学校にて無事実施することができました。心より御礼申し上げます。

合格発表は11月26日(水)に行われ、実施結果及び合否判定基準は以下のとおりとなります。

■令和7年度 実施結果概要

| 申込者 | 受験者 | 受験率 | 合格者 | 合格率 |
|-----|----------|----------|-------|---------|
| 全国 | 306,099名 | 245,462名 | 80.2% | 45,821名 |
| 高知県 | 808名 | 650名 | 80.4% | 126名 |

■令和7年度 合否判定基準

50問中 33問以上正解した者(登録講習修了者) 45問中 28問以上正解した者)

法定講習は宅建協会で受講しましょう
(座学) 令和7年度 第3回 法定講習開催予定(会場:高知会館)

| 開催予定日 | 申込受付期間 | 対象者(有効期限) |
|------------------|---------------|---------------------|
| 第3回 令和8年3月12日(木) | 令和8年2月2日～2月6日 | 令和8年3月12日～令和8年9月11日 |

※ WEB講習も実施しています(申込時、有効期限が60日以上あること etc… お問合せ下さい。)



委員会だより <保証協会苦情解決指導委員会>

全宅保証高知本部の保証協会苦情解決指導委員会は、消費者（県民）と会員業者双方の安心と信頼を築くため、宅建業法に基づき、全宅保証の地方本部として行われる「苦情解決業務」の透明性を高めることを目的として活動しています。

～皆様の「安心・安全」な不動産取引のために～

全宅保証高知本部の苦情解決指導委員会は、会員業者の皆様が行った宅地建物取引に関する苦情について、公正かつ迅速な解決を図り、消費者の皆様の利益を保護することを目的として活動しています。不動産取引は一生に何度も大きな買い物であり、時には予期せぬトラブルが発生することもあります。そのようなとき、県民の皆様が「どこに相談すればいいのだろう」と不安にならないよう、私たちが中立な立場で耳を傾け、円満な解決をサポートしていきたいと考えています。

I. 苦情解決委員会の活動

一般相談業務や相談員スキルアップの為の勉強会および研修会を宅建協会と合同で開催しています。

相談会等では、消費者からの相談だけで終わりにせず、場合によっては会員業者双方から丁寧に事情を聴取し、円満な解決に向けた助言・指導を行っています。

また、消費者だけでなく会員業者の相談にも対応していきたいと考えます。

II. 苦情解決の仕組みと窓口のご案内

宅建協会には、会員業者との間で生じた宅地建物取引に関する苦情を解決するための仕組みがあります。

1. 申出の受付：消費者から高知県宅建会館内 保証協会高知本部へ苦情解決の申出。

2. 事情聴取・指導：苦情解決委員会が申出人・会員双方から詳細な事情を聴取し、資料を調査。

3. 自主解決の促進：会員業者に対し、宅建業法や社会通念に基づき、**自主的かつ円満な解決**を図るよう助言・指導を行います。

4. 解決・終結：当事者間の合意（和解）により解決に至ります。解決しない場合は、**弁済業務**へ移行する場合があります。

まずはご相談ください。秘密は厳守致します。

| 日 時 ・ 会 場 な ど | |
|---------------|---|
| 窓 口 名 | 高知県宅地建物取引業協会 不動産無料相談所 |
| 所 在 地 | 高知市上町1丁目9-1 高知県宅建会館内 |
| 電 話 番 号 | ☎ 088-823-4000 |
| 相 談 日 時 | 火曜日・金曜日 13:00～16:00（祝日・年末年始を除く） |
| 弁 護 士 相 談 | 毎月第1・第3金曜日の13:00～15:00は、弁護士同席による専門相談も実施しています。 |

ハトマークサイト高知の『のぼり旗』『ステッカー』ができました!!

令和7年6月にハトマークサイト高知plusの運用が終了となりました。

新たに会員間不動産流通システムとしてハトサポBBを提供すると同時に一般消費者向けハトマークサイト高知を公開しております。ハトマークサイト高知のPRをするために、のぼり旗とステッカーを作成し、同封しております。

ぜひ、店頭等に掲示していただき、PRにご協力をお願いいたします。



会員処分について

以下の会員につきまして、定款施行細則第5条に基づき戒告処分といたしましたことをご報告申し上げます。

【会員商号】 ルテナホーム株式会社

【所 在 地】 高知市はりまや町3丁目1番19号有為ビル1階

【代表者名】 ト部 美紀

【会員商号】 有限会社メイン住宅

【所 在 地】 高知市介良乙698番1号

【代表者名】 小松 透



香南市との協定

令和7年10月29日、香南市役所にて「香南市における町内会・自治会への加入促進に関する協定式」に出席し、協定を締結しました。本協定は「だれもが安全安心に暮らせる住みやすい協働のまちづくり実現」のため、香南市、(公社)全日本不動産協会高知県本部、香南市まちづくり評議会及び当協会の4者が連携し、香南市における町内会・自治会への加入促進を図ることを目的としています。

当協会の役割としましては、香南市における物件の売買、賃貸借または仲介等契約者などへのチラシや啓発物の配布を通して、町内会や自治会への加入促進に協力します。

香南市への転居の際には、町内会・自治会へのご加入をご一考ください。



「協定式の様子」

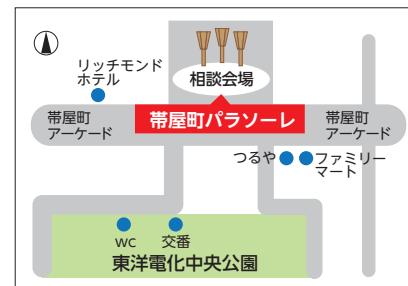


空き家・空き地の無料相談 開催報告

11月23日(日)、高知市の帯屋町「帯屋町パラソーレ」において「空き家・空き地の無料相談」を開催しました。

7名の相談員が交代で対応し、午後の部には弁護士も同席しました。

12件の相談があり相続した空き地・空き家の処分について、それぞれのケースに応じた有効な方法をアドバイスしました。



定期不動産無料相談のご案内

毎週火曜日・金曜日の午後1時から4時まで、高知県宅建会館で『不動産に関する無料相談』を行っています。宅地建物取引に関するトラブルや疑問などお気軽にご相談下さい。毎月第1・第3金曜日は弁護士相談(午後1時から3時まで)も実施しています。

なお、地区相談も下記のとおり開催を予定しています。詳しくは協会までお問合せください。

【定期相談会場・お問合せ】

公益社団法人 高知県宅地建物取引業協会
公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会高知本部
■住所: 高知市上町1丁目9番1号 高知県宅建会館
■電話: 088-823-4000 ■HP: <https://www.823-2001.com>



地区相談 開催予定

| 日時 | | 会場 |
|-------------|-------|-------------------------|
| 令和8年2月5日(木) | 高岡北地区 | 佐川町商工会 |
| 令和8年3月9日(月) | 南国地区 | 南国市地域交流センター MIARE!(みあれ) |

※今後の地区相談日程は決定次第、当協会ホームページ等でお知らせします。



青年部の活動状況

令和7年11月20日木曜日、高知市文化プラザかるぽーとにおいて令和7年度総会及び勉強会を開催いたしました。本年は2年に一度の役員改選が行われ、不動産マーケットの和田学が昨季に引き続き青年部会長に就任いたしました。

また、同日開催された勉強会では「空き家等に係る媒介報酬規制」等の課題について、意見交換を活発に行いました。





紛争事例

〔(一財) 不動産適正取引推進機構発行「RETIO No.138」より転載〕

最近の裁判例から (1) - 地中埋設物 -

敷地境界沿いの地中埋設物が契約不適合に該当するとした買主の主張が棄却された事例



購入した土地の敷地境界沿いに地中埋設物（排水管パイプ・隣地境界塀の基礎部分越境）が存していることが契約不適合に当たるとして、買主が売主に賠償請求したが、当該埋設物が買主の住宅建設に大きな障害になったとは認められず、また、土地全体に地中埋設物が存しないことが契約内容であったとも認められないとして棄却された事例

1 事案の概要

売主Y（被告・個人）は、自宅（敷地72.36m²）を売却するに先立ち、令和元年5月頃、建物解体工事を実施したところ、地中よりガラが発見されたため、これを撤去し、消失した分の土を新たに入れて土地の整形を行った。なお、この解体工事においては、既存の塀は残置する方針としており、塀の倒壊を防ぐため塀付近は掘削しなかった。

Yは、本物件の物件状況等報告書の作成にあたって、建物解体時にガラが発見されて土を入れ替えた旨を特記事項に記載したうえで、「地中埋設物を見していない」「越境がない」旨をそれぞれ記載した。

買主X（原告・個人）は、令和2年9月18日、契約不適合責任期間を引渡完了日から3か月とする特約をつけて、本件土地を自宅建設目的でYと売買契約を締結し、同年12月18日に引渡しを受けた。

本件土地の引渡し後、令和3年3月頃、Xが自宅建築工事に着手したところ、本件土地の北側境

界付近にある塀に沿って地中50cm程度の深さから、使用されていない排水管パイプ（直径40cm、長さ690cm程度）が発見された。また、本件塀の地中基礎部分が隣地に越境していることが判明した。しかし、建物建築に支障がなかったため工事は続行され、7月に建物が完成し、Xは入居した。

令和4年1月、Xは本件パイプの撤去工事を行い、工事費用として57万円を支出した。

Xは、本件土地の品質として、地中埋設物が存在しないこと及び隣地への越境がないことが本件売買契約の内容としてYとの間で合意されていたと主張して、Yに対して、契約不適合責任に基づき、支出した工事費用や慰謝料等102万円余の損害賠償請求訴訟を簡易裁判所（原審）に提起した。

原審は、Xの請求を契約不適合責任に基づく損害賠償請求であると整理したうえで、仮に契約不適合責任があるとしても、Xによる通知は、売買契約上定められている3か月以内にYに契約不適合がある旨を通知したとは認められないと事実認定し、同請求を棄却した。

Xはこれを不服とし、①売主の悪意により契約不適合免責特約は適用されない、②説明義務違反による不法行為または債務不履行があると主張して控訴した。

2 判決の要旨

控訴審においても裁判所は、次のように判示して、Xの請求を棄却した。



(本件パイプ埋設及び本件基礎の越境があったことが本件契約の契約不適合に当たるか)

地中埋設物がない旨の説明は売主であるYの認識を示したにとどまり、建物撤去工事に際してガラを撤去した旨の説明も、あくまで建物撤去工事の際に掘削した範囲にとどまるものであり、本件土地全体について地中埋設物がないことまで確認したことを説明したものではないから、本件土地全体におよそ地中埋設物が存在しないことが本件契約の内容であったということはできない。

また、本件パイプが本件土地の北側境界付近の本件塀に沿って埋設されていたことからすれば、建物解体工事に際し、本件パイプの埋設箇所が当然に掘削されるべきであったということはできないし、本件パイプが本件契約前に解体された建物に接続していたことを認めるべき証拠もないことからすれば、本件パイプが建物解体工事の際に当然に発見されて撤去されるべきであったともいえない。

そして、本件パイプの埋設が判明した後も自宅建築工事は進行して完成に至っており、本件パイプの埋設が自宅建築に大きな支障となったものとは認められない。

以上に照らせば、本件パイプが、本件土地上に建物を建築するのに支障となる埋設物であったと認めることはできず、本件土地の品質に関する契約不適合があったとはいえない。

次に、本件基礎の越境の範囲も、本件土地と隣地との境界付近に限局されていたことがうかがわれ、現に越境によって具体的な支障が生じている事実が認められることからしても、本件基礎の越境をもって本件契約に契約不適合があったということはできない。

(Yに説明義務違反が認められるか)

Xは、本件塀付近を掘削していないのであれば、Yにはその旨説明すべき義務があるのに、建物解体時に地中よりガラを撤去した旨説明し、本件土地全体を掘削したかのような説明をしたのは、説明義務違反に当たると主張する。しかしながら、建物解体時に地中よりガラを撤去した旨の説明は、あくまでも建物解体に際して掘削した際の対

応を説明したにすぎず、本件土地全体について掘削し地中埋設物を撤去した旨を説明したものではないことから、Yに説明義務違反は認められない。

3 まとめ

本事例は、敷地境界沿いの地中埋設物について、建物建築に大きな支障となったものとは認められず、また、土地全体におよそ地中埋設物が存在しないことが契約内容であったとは認められないとして、契約不適合責任が否定された事例であり、契約不適合責任の考え方として参考になる。

本事例と同じような考え方で沿った裁判例として、民法改正前の瑕疵担保責任に関する事例であるが、「接地との境界に沿った地中のブロックフェンスの基礎が埋設により居住用建物の敷地としての一般的な利用が大きく妨げられているとはいはず、増改築や建替えの必要性は、直ちに現実化することのない不確定なものであるから瑕疵に当たらない」とされた事例（東京地裁 平成22年4月8日 RETIO83-138）や、「建物の敷地として利用することが可能であり、また、植栽や農園等としてそのまま利用することは予定されていなかったことから、売買の目的を達することができないとはいはず、瑕疵とは認められない」とされた事例（東京地裁 令和2年7月22日 RETIO122-154）があるので併せて参考にされたい。



高知市五台山の新たなシンボルとして

2026年に誕生する 五台山展望台 ソラミアン

高知市中心部を見渡す景勝地・五台山に、
2026年、新たなランドマークとなる「五台山展望台 ソラミアン」が誕生します。
これまで親しまれてきた展望台と同じ場所に新たな展望台を建設し、
五台山の魅力を次の世代へとつないでいきます。



一般公募で決定した名称「ソラミアン」

「ソラミアン」は、全国から寄せられた1,346点の応募の中から選ばれた名称です。

「空を見る庵(いおり)」という意味が込められており、空とのつながりを感じられる展望台のイメージを象徴しています。

高知県在住の男性が考案した造語で、五台山の新しい展望スポットにふさわしい名前として採用されました。



ロゴ決定

ロゴデザインは、FULL DESIGN 森澤良典氏によるものです。3本のラインが特徴的なデザインは、新展望台を構成する2枚の円盤(デッキとフロア)と山頂公園の側面を表現し、建築と土地が呼応するシンボルマークとなっています。

今後は、展望台で販売されるオリジナル商品のパッケージなどにも展開予定です。ぜひご注目ください。



どんな施設?

◆五台山展望台の歴史

五台山展望台は、学校行事の遠足で訪れる小中高生や、夏の花火、夜景を楽しむ人々など、半世紀以上にわたり多くの人に親しまれてきました。かつては山頂駅から青柳橋西部までロープモノレールが運行され、恋人たちが南京錠を掛けに訪れるなど、世代を超えて県民に愛される展望スポットでした。

その後、施設の老朽化に伴い安全面の観点から、2022年に一度閉鎖されましたが、現在は県産木材を使用した木製展望テラスが整備され、変わらぬ眺望を楽しめる場所として、多くの人が訪れています。

◆新しい五台山展望台

新しい五台山展望台は、鉄筋コンクリート造2階建ての建物です。展望台となる屋上部分は24時間開放され、高知市内を360度一望できる眺望を楽しめます。建物の頂上部分は、旧展望台と同じ高さとなっています。

2階にはレストランを併設し、客室を1室設ける予定です。

また、ここでしか手に入らないオリジナル商品も現在多数企画・開発中です。

なお、県産木材を使用した木製展望テラスは、これまでどおり残され、引き続き多くの方に親しまれる空間となります。



五台山展望台「ソラミアン」の周辺施設

五台山では、新しい展望台「ソラミアン」だけでなく、歴史や自然に触れられる多彩な施設をあわせて楽しむことができます。四国霊場第31番札所「竹林寺」や、自然豊かな「高知県立牧野植物園」など、五台山ならではの魅力が広がっています。展望台を訪れるだけでなく、五台山から望む美しい景色と、周辺施設をあわせて巡っていただくことで、より深い感動を味わっていただけます。



◆木製展望テラス

展望台と同じ高さに設けられた、開放感あふれる見晴らしの良いテラスです。

◆鉄塔(NHK高知放送局テレビ塔)

五台山のランドマークの一つとして親しまれている放送用鉄塔です。夜景の中に浮かぶその姿が、東京タワーを思わせると話題になることもあります。



◆濱口雄幸像

高知県出身の政治家で、第27代内閣総理大臣・濱口雄幸を顕彰する像です。



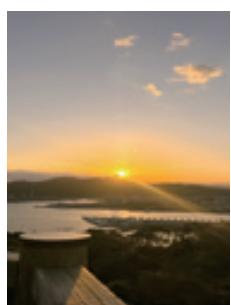
◆五台山 竹林寺

四国霊場第31番札所。遍路参りの方々が多く訪れる、由緒ある寺院です。

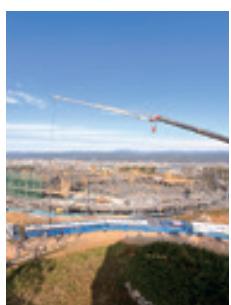
◆高知県立牧野植物園

連続テレビ小説「らんまん」で注目を集めた話題となった牧野富太郎博士ゆかりの植物園。高知の豊かな自然植生を一望できます。

五台山公園の映えスポット



◆木製展望テラスから見る日の入りはとても神秘的。



▼仮面ライダーV3の撮影の聖地でもあります。



▲展望台への道も季節を感じながら楽しめます。

■お問い合わせ先

株式会社みんぱろ 担当:小崎 TEL:088-844-2111 (ミタニ建設工業株式会社内)

会員異動のお知らせ

【新入会者のご紹介】



(令和7年8月25日)

① 北地区

② (1) 3075

③ 須藤 紘美里



(令和7年8月25日)

① 中央東地区

② (1) 3076

③ 大野 友視



(令和7年9月25日)

① 北西地区

② (1) 2949

③ 片岡 優稀

④ (株)エムエスティー

⑤ 高知市比島町3丁目10番21号

⑥ 須藤 康彦(5169)

⑦ 088-879-3180/なし

④ RELIEF(株)

⑤ 高知市北久保9番32号 601号室

⑥ 大野 友視(徳島4454)

⑦ 088-881-1730/088-881-1731



(令和7年9月25日)

① 中央東地区

② (1) 3078

③ 高橋 翔也



(令和7年10月22日)

① 東地区

② (1) 3077

③ 山崎 篤



(令和7年10月22日)

① 南地区

② (1) 3034

③ 門田 大介

④ (株)アールデザインハウス

⑤ 高知市杉井流17-6

⑥ 高橋 翔也(大阪127083)

⑦ 088-802-5888/088-802-7833

④ (同)高知ライフ不動産

⑤ 高知市薊野西町3丁目35番16号

⑥ 山脇 博也(4635)

⑦ 088-803-9995/088-803-9996



(令和7年10月22日)

① 仁淀地区

② (1) 3080

③ 神田 篤



(令和7年10月22日)

① 南地区

② (1) 3081

③ 森田 雄介



(令和7年11月26日)

① 中央西地区

② (1) 3084

③ 金丸 恭士

④ 神田商店不動産部

⑤ 土佐市高岡町乙161番地12

⑥ 弘井 明誠(4499)

⑦ 088-802-7640/088-803-4099

④ マルカ不動産(株)

⑤ 高知市北高見町257番地1

⑥ 森田雄介(神奈川113565)/角田佳穂(4520)/高橋克樹(4889)

⑦ 088-854-7847/088-854-7848

①地区名 ②免許番号 ③代表者(支店長: 政令使用人) ④商号 ⑤事務所所在地 ⑥専任宅建士(登録No) ⑦TEL/FAX

【退会者】

(届出順)

| 地区名 | 免許No. | 商号 | 代表者 | 資格喪失日 |
|-----|-------|------------|-------|------------|
| 仁淀 | 2917 | 神田商店不動産部 | 神田 嶽 | 2025/ 9/ 8 |
| 北 | 1455 | 大津屋不動産 | 中村 有佑 | 2024/11/30 |
| 西 | 2945 | ホームクリエーション | 山上 隆澄 | 2025/ 6/10 |
| 南 | 2232 | メイン住宅 | 小松 透 | 2025/12/ 9 |

